

■耐震診断の結果、耐震改修が必要になった校舎を計画的に整備

実施年度	小学校	中学校
平成 16 年度	福田第一小学校 (管理・教室棟)	
平成 18 年度	柳沢小学校 (管理・教室棟)	
平成 19 年度	南部小学校 (管理・特別教室棟)	
平成 20 年度	東部小学校 (体育館)	
平成 21 年度		第一中学校 (教室棟)
平成 22 年度		第一中学校 (管理・特別教室棟)
平成 23 年度		第一中学校 (普通・特別教室棟)
平成 24 年度	中央小学校 (体育館) 南部小学校 (体育館) 岩木小学校 (普通教室棟)	
平成 25 年度	宮崎小学校 (教室棟と体育館) 東部小学校 (普通・特別教室棟) 北部小学校 (管理・教室棟と体育館) 中央小学校 (新館) 川間小学校 (普通・特別教室棟)	南部中学校 (普通教室棟) 第二中学校 (管理・普通教室棟) 東部中学校 (体育館)
平成 26 年度	山崎小学校 (普通教室棟と管理・特別教室棟) 岩木小学校 (管理・特別教室棟) 清水台小学校 (特別教室棟) 中央小学校 (管理棟) 川間小学校 (管理・教室棟と体育館) 福田第二小学校 (体育館)	福田中学校 (特別・普通教室棟) 第一中学校 (体育館)
平成 27 年度	中央小学校 (記念館) 木間ヶ瀬小学校 (管理・特別教室棟と普通教室棟) 清水台小学校 (管理・教室棟と体育館) 二川小学校 (普通教室棟) 宮崎小学校 (教室棟) ※一部改築 柳沢小学校 (体育館) 岩木小学校 (体育館)	二川中学校 (管理・特別・普通教室棟) 関宿中学校 (格技場)

業認可を取得することなどから、イトーヨーカ堂の再出店の交渉も無事まとまり、同社系列のザ・プライスが、25年12月に新店を開業いたしました。

野田地域の外郭環状道路の完成に向けて

船形吉春線は、野田地域の外郭環状道路の一部に位置付けられ、県

道・我孫子関宿線の船形地先と国道16号の吉春地先を結びます。

用地取得率は93パーセントで、早期完成に向け、作業を進めています。

船形吉春線が完成すると、関宿地域の南東部から、最寄りの東武野田線・川間駅へのアクセス性が向上します。

さらに、都市計画道路・今上木野崎線(県道川藤野田線)の県整備とあわせ、野田地域の外郭環状道路が完成すれば、市内の交通渋滞も緩和される見込みです。

**校舎を早期耐震化して
児童生徒の安全を確保**

学校施設は、児童・生徒にとって1日の大半を過ごす学習・生活の場であり、また地域住民の皆さんにとっても、生涯学習や文化、スポーツなどの活動拠点や災害発生時には避難所となることから、施設の耐震補強を計画に位置付け、緊急性の高い建物から計画的に耐震補強を進めていきました。

しかしながら、東日本大震災など、災害はいつどこで起きるかわかりません。被害を最小限に抑えるため、耐震改修計画を大幅に前倒しし、校

舎と体育館は平成27年度までの完了を目指し、作業を進めています。

**東日本大震災を受けて
特例債発行が10年延長**

合併特例債の発行期限は25年度まででしたが、東日本大震災の特定被災区域に野田市が該当したため、国は特例債の発行期間を延長し、さらに10年の財源優遇措置が得られることになったことから、新市建設計画に位置付けた、25年までに事業着手が難しかった事業についても、合併特例債を活用して進めることができるようになりました。

事業は、①外郭環状道路を構成する県道川藤野田線整備、②川間公民館の建て替え、③連続立体交差事業、④連続立体交差事業に関連した道路整備、⑤市道整備です。連続立体交差事業(県事業)は、平成26年から高架橋の基礎工事を開始し、清水公園駅側から愛宕駅へ向かって進めていく予定です。なお、連続立体交差事業にあわせて、愛宕駅、野田市駅の駅舎をバリアフリー化するとともに、野田市駅周辺の区画整理も行う予定です。